日立工機MAGAZINE（マガジン）

Hitachi Koki

2013 夏号 vol.10

特集

グローバルに広がる日立工機のフィールド

世界有数の電動工具メーカー!
60年以上の信頼と実績

世界 No.1を狙う 日立工機

豊富なラインアップ!

省エネルギーとお客様の利便性のたゆまぬ追求

世界50カ国以上で愛用されている、日立工機の電動工具。モーターの省エネルギー化が求められる中、新世代eモーター(ブラシレスモーター)搭載工具のラインアップを強化。高効率、省エネルギーで長寿命なモーター製品により、CO_2削減も図っています。また、リチウムイオン電池の高容量化や電池の安全性・互換性にこだわるとともに、防じん・耐水の国際規格取得製品の拡充を進めるなど、お客様の利便性向上に向け、積極的に取り組んでいます。

ブラシレスモーター eMOTOR 高効率で経済的

独創的な発想と確かな技術力!

顧客ニーズを的確に捉えたAC100Vブラシレスモーター搭載のインパクトドライバや、低振動で長時間作業を実現したコードレス刈払機、ハンディサイズながら大容量の高圧コンプレッサなど、独自の高い技術力と「旬感開発(スピード開発)」で、他社にない新製品をタイムリーに提供し続けています。

環境に配慮した総合OPE*事業の展開

市場規模が大きく、景気変動に左右されにくい園芸・エンジン工具市場において、電動・コードレス・エンジンの総合OPEメーカーとしての強みを活かした事業を展開。エンジン工具では、日米欧の厳しい排出ガス規制をクリアする新型エンジン「New Pure Fire(ニューピュアファイア)」を開発する一方、コードレス工具では、パワフルな36V園芸工具シリーズを投入するなど、環境にも配慮した製品ラインアップを充実させています。

＊ Outdoor Power Equipmentの略で、農林業や園芸などで使われるアウトドア工具全般。

成長市場の新興国で拡販！

世界市場を「規模」の先進国、「成長」の新興国と捉え、日米欧で規模の拡大を図りつつ、BRICsに続きASEANでも順次拠点を立ち上げるなど、成長市場の新興国で営業力を強化。取引先の新規開拓や販促活動に力を入れています。

特集 グローバル展開

欧州

地域特性

石造りの建築物が多い欧州は、ハンマ、ハンマドリル、ディスクグラインダの大きな市場です。現在、欧州全域で景気が低迷する中、ロシアは堅調に推移しています。豊富な資源を持つ国である上、老朽化したインフラや建築物の改修・改装需要が拡大しており、さらに、個人消費の伸びにより刈払機やチェンソーなど、エンジン工具が好調です。

新製品投入で購買意欲を喚起

パワフルな36Vリチウムイオン電池搭載の園芸工具を投入します。排気ガスゼロ、エンジン音のない静粛性、ガソリンやオイルを使わない扱いやすさを活かして、早朝や休日の住宅街および病院、学校向けに新しい需要を掘り起こしていきます。

また、現在好評の小型ハンマドリルにおいて、耐久性約2倍、作業スピード約30%アップ、振動は約2/3に軽減した新モデルを投入し、現行モデルを上回る販売を目指します。

アジア・オセアニア

地域特性

タイやインド、中東などでは、好調な経済成長を背景に、ショッピングモールやコンドミニアムといった大規模施設の建設が進んでいます。また、資源国であるオーストラリアでは、ハンマ、ハンマドリルやコードレス工具を中心に大きな市場があります。

電動工具で経済成長をサポート

インド、中東、ASEANでは、インフラ整備に合わせて電動工具市場も拡大しています。売上が好調な製品は、ディスクグラインダや高速切断機など建設向けの工具ですが、リチウムイオン電池搭載製品もこれからのトレンド。成長市場の旺盛なニーズにマッチした新製品をタイムリーに投入しています。

日本

地域特性

東日本大震災から2年。復旧が概ね一段落し、復興を目指す中で住宅投資も回復傾向にあります。また、高品質な電動工具に対するニーズも非常に高く、世界に先駆けた最先端技術を取り入れた製品をスピーディーに届けていくことが求められています。

ーバルに広がる工機のフィールド

世界中のプロに選ばれ、愛用され続けている
日立工機の電動工具。
その背景には確かな品質と多様な製品ラインアップ、
そして世界を4極に分け、各地域に根差し顧客ニーズ
に対応した営業展開があります。
今回の特集では、グローバルに広がる
日立工機のビジネスフィールドをご紹介します。

最先端の製品・技術の発信基地として

他社に先駆けて発売した高容量4.0Ahリチウムイオン電池搭載のコードレス工具や、「さわモデル」に代表される高性能・高品質・高耐久な高圧コンプレッサを中心とした空気工具など、高機能製品が好調です。特に日立工機のリチウムイオン電池は、当初から電池多重保護回路を搭載し安全性を確保しており、従来機種にそのまま使用できる互換性の高さも高評価を得ています。

米州

地域特性

北米地域においては、これまで低迷していた住宅投資が回復に転じたことを追い風に、電動工具の需要も増加しています。DIY市場が大きいため、プロはもちろん一般の方からの需要も多くあります。

中南米地域においては、広大な国土と高い経済成長が見込めるブラジルをはじめとした新興国も大きな市場となっています。

北米住宅投資が回復し、釘打機が大人気

空気工具では米国シェア第2位という強みを持つ日立工機。北米の「住宅投資の回復」に合わせて、釘打機や釘の売上が増加しています。また、日立工機製品の品質の高さに対する評価も浸透し、ブラシレスモーターやリチウムイオン電池搭載のコードレス工具の需要も高まっています。さらに、DIYが盛んな地域でもあるため、ホームセンターなどでの展開にも力を入れています。

中南米ではブラジルに注力

中南米では、市場規模が大きく、サッカーワールドカップやオリンピック開催で盛り上がるブラジルに販売拠点を設立し、販売網の拡充に注力しています。

日立工機の裏側お見せします

プロダクトデザインのこだわりを知る

デザイン界のオスカーといわれるドイツの「iFデザイン賞」をはじめ、アメリカの「IDEA賞」、日本の「グッドデザイン賞」を受賞した日立工機の製品デザイン力は、グローバルに高い評価を受けています。ここでは、こだわりのプロダクトデザインの裏側を、2013年「iFデザイン賞」受賞のエンジンチェンソーを例にお見せします。

① 構造図から構想を練る

設計担当者から構造図が提示され、プロダクトデザインがスタート。綿密な打ち合わせを基に、デザインの構想を練っていきます。

② ラフスケッチを描く

構造図を基に、デザイナーが手書きのラフスケッチを描きます。設計担当者と何度も議論しながら最適なデザインに仕上げていきます。

③ 高精度なイラストを作成

グラフィックソフトを使って高精度なイラストを作成。ムダがなく機能性を備えたデザインを追求します。ここで新しい機能が追加されることもあります。

④ 立体的デザインを作成

「3D CAD」を用いて立体的なデジタルデザインデータを作成。ここで機能性、操作性、部品や配線の収まり具合などについて十分に検証を行います。

⑤ 試作モデル作成→徹底検証

3Dデータから造型担当者が試作モデルを作成。ユーザーがさまざまな姿勢で使うことを想定し、試作モデルを使って繰り返し操作性、安全性を確かめます。

⑥ 完成！

完成したデータを基に、試作、量産各工程において、徹底した品質管理の検査を経て、製品が完成します。

プロダクトデザインの重点ポイント！

操作性 見た目だけでなく、ユーザーが扱いやすい電動工具であることが何よりも大切です。使いやすさ、疲れにくさ、軽量化も重要です。

機能性 作業効率、耐久性、環境性などの機能を最大限に活かすこともポイント。徹底的に議論しながら、優れた製品が誕生していくのです。

スピード 製品をいち早くお届けすることも私たちの使命。早い段階から「3D CAD」によるデザインを行うことでスピードアップを図っています。

日頃の感謝を込めて——販売店様向けバリ島招待旅行を実施

2012年下期の「日立電動工具躍進セール」で優れた実績を収めた販売店様311名を対象に、2013年7月、感謝を込めてバリ島招待旅行を行いました。バリ島の世界遺産を満喫しつつ、販売店の皆様と親交を深めさせていただきました。

クラス最速*1＆作業量大幅アップ！最新のインパクトドライバが好評

「14.4V／18V コードレスインパクトドライバ」は、クラス最速のねじ締めスピードと作業量大幅アップを実現した最新モデルです。日立独自のACS*2機能で作業に合わせ、締め付けスピードや打撃タイミングを最適にコントロール。手のひらサイズで作業もしやすく、4.0Ahリチウムイオン電池により1充電当たりの作業量も大幅にアップしました。

*1 2013年1月現在　国内電動工具メーカーにおいて（当社調べ）

*2 アクティブコントロールシステム（特許出願中）

決算と配当のご報告

2014年3月期第1四半期の決算を行いました

住宅投資が回復傾向にある日本および北米の売上が堅調に推移したほか、為替が円安基調となったことなどから、売上高は前年同期比で増収となりました。一方、ライフサイエンス機器事業の国内での特需が終了したことや在庫調整のため生産を抑えたことなどにより、営業利益は減少しました。今後は、収益性の高い新製品の拡販やさらなる原価低減、間接コストも含めた総コスト低減の断行などにより、収益性の向上を図ります。

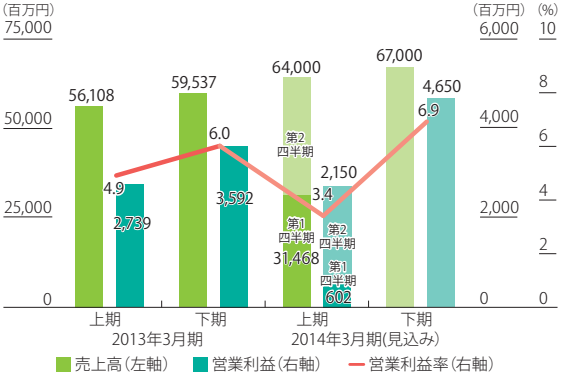
配当金

（単位：円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2012年3月期	6.00	6.00	6.00	6.00
2013年3月期	6.00	6.00	6.00	6.00
2014年3月期	6.00	6.00（予想）	6.00（予想）	6.00（予想）

（注）2014年3月期第2四半期以降の配当金については、2013年7月29日発表時点の予想です。

半期ごとの売上高・営業利益（実績と見込み）



株主の皆様へのお知らせ

配当金を口座振込（株式数比例配分方式を除く。）または配当金領収証でお受取りの株主様は、同封の配当金計算書を確定申告の際に添付する支払通知書としてご使用になれます。なお、株式数比例配分方式にてお受取りの株主様につきましては、お取引の証券会社にご確認ください。

会社概要

商号	日立工機株式会社　Hitachi Koki Co., Ltd.
設立	1948年12月18日
本店所在地	〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号
代表者	取締役会長 兼 取締役社長　加藤 清
資本金	178億円（2013年6月30日現在）
従業員数	連結　4,976名 単独　1,516名（2013年6月30日現在）

お問い合わせ先

日立工機株式会社

広報室

TEL：03-5783-0601

e-mail：ir@hitachi-koki.co.jp

ウェブサイトのご紹介

日立工機のウェブサイトでは、各種財務データや配当情報などを掲載した「株主・投資家向け情報」のほか、「電動工具」「ライフサイエンス機器」の各事業についての情報を掲載しています。新製品情報やカタログ、取扱説明書なども随時更新していますので、ぜひご覧ください。

http://www.hitachi-koki.co.jp/